

永平寺町空き家等対策検討委員会運営規則を次のように公布する。

令和6年6月20日

福井県吉田郡永平寺町長 河合 永 充

永平寺町規則第18号

永平寺町空き家等対策検討委員会運営規則

(趣旨)

第1条 この規則は、永平寺町附属機関設置条例(令和元年永平寺町条例第13号)第2条に規定する永平寺町空き家等対策検討委員会(以下「委員会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について所掌し、その結果を町長に報告する。

- (1) 空き家等の立入調査に関すること。
- (2) 助言又は指導、勧告、命令及び公表に関すること。
- (3) 空き家等の解体及び撤去のための補助金の付与に関すること。
- (4) 行政代執行に関すること。
- (5) その他町長が必要と認めること。

(委員の構成)

第3条 委員会の委員の定数は30名以内とし、次に掲げる者のうちから町長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 学識経験者(1級建築士又は被災建築物応急危険度判定士等)
- (2) 副町長
- (3) 永平寺町消防本部消防長
- (4) 財政課長
- (5) 住民税務課長
- (6) えい住支援課長
- (7) 該当となる建物が所在する区長
- (8) 前各号に掲げる者のほか、町長が特に必要と認める者

2 委員の任期は5年とする。ただし、前項第7号に掲げる委員の委嘱期間については、委嘱した日から前条に掲げる事項の審議が終了した日までとする。

3 委員は再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長それぞれ1人を置く。

- 2 委員長及び副委員長は委員の互選により定める。
- 3 委員長は、会務を総括し、委員会を代表する。
- 4 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けているときは、

その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議(以下「会議」という。)は、委員長が必要に応じ招集し、委員長がその会議の議長となる。

2 委員長は、委員の半数以上から審議すべき事項を示して会議の招集の請求があったときは、速やかに会議を招集しなければならない。

3 委員長は、第3条第1項に掲げる委員の数の過半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。

4 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

5 会議は、原則非公開とする。ただし、委員長が特に必要と認めたときは、この限りでない。

(委員の除斥)

第6条 委員長、副委員長及び委員は、自己又は父母、祖父母、配偶者、子、孫若しくは兄弟姉妹の一身上に関する事項については、その議事に加わることができない。ただし、委員会の同意があったときは、その会議に出席し、発言することができる。

(意見の聴取及び資料提出等の要求)

第7条 委員長は、必要があると認めるときは、委員の過半数以上の同意を得た上で委員以外の者の出席を求めて意見等を聴き、又は必要な資料の提出を求めることができる。

(会議録)

第8条 委員長は会議録を調製し、これを保存しなければならない。

(守秘義務)

第9条 委員及び第7条の規定により会議に出席した者は、審査の内容その他職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後もまた同様とする。

(庶務)

第10条 委員会の庶務は、永平寺町役場防災安全課において行う。

(委任)

第11条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。